

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により実施する。

* 競技用シューズについて、競技規則TR5.2は適用しない。

2 練習について

- (1) 練習は、指導者引率のもと練習会場（競技場南の手柄山中央公園）で行う。ただし、フィールド競技の練習は禁止する。フィールド競技の練習は、招集完了後、競技役員の指示により競技場内で行う。
- (2) 80mH・走高跳・走幅跳の練習場所として主競技場を7:50～8:30まで開放する。また、第2ゲート付近～第3ゲートまでのバックストレート直線も使用可とする。ただし、アップのみとしトラックは順走とする。
- (3) 練習会場と競技場間の移動は、安全を考慮しできるだけ歩道橋を利用すること。
- (4) 練習は、「事故防止」に万全を期すこと。また、荷物などは個人が責任を持ち管理すること。
- (5) サブトラック使用上の注意は下記のとおりとする。
 - ① レーンが少ないので、ウレタン舗装路のジョグはしない。
 - ② レーンは左周りのみで、逆走はしない。
 - ③ 練習器具の持ち込みは一切禁止とする。

3 招集について

- (1) 招集所は第2ゲート入口付近に設ける。
- (2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、プログラムの競技日程欄を参照すること。
- (3) 招集の手順について
 - ① 競技者は、招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・スパイク（ピンの長さは9mm以内）等の点検を受ける。この時に点呼に応じない、または招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなし処理する。
 - ② 点呼の代理人は認めない。ただし2種目同時に出場する競技者は、1種目目の招集前にその旨を本人が競技者係に申し出て、事前に2種目目の招集を受けなければならない。（多種目同時届）
 - ③ トラック種目に出場する選手は、競技者係より腰ナンバーカードを受け取り、右腰に貼付し競技に出場すること。競技終了後、係の指示に従って取り外すこと。
 - ④ 当該種目を欠場する者は、あらかじめ欠場届を競技者係に提出すること。（欠場届）
※多種目同時届と欠場届は、庶務係（第2ゲート学校受付）に用意してある。

4 競技について

- (1) トラック競技のレーン順・フィールド競技の試技順は、スタートリスト記載順とする。
- (2) 100m・80mH・4×100mは、クラウチングスタートを原則とする。また、決められたレーンを走る。
- (3) キッズチャレンジ50mは、スタンディングスタートで実施する。また、決められたレーンを走る。
- (4) スターティングブロックの使用は、100m・80mH・4×100mの決勝（希望する者）のみとする。
- (5) トラック競技の予選はタイムレースで行う。予選の結果、決勝への出場資格者は場内アナウンスで発表する。
- (6) リレー競走におけるテイクオーバーゾーンは基準点から手前20m後ろ10mの合計30mとする。
- (7) テイクオーバーゾーン外から走り出すことはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
- (8) リレー競走に出場する選手のユニフォームは、チームの全選手とも同一デザインとする。
競技結果については、場内アナウンスで発表する。
- (9) リレーオーダー用紙について、予選・決勝（オーダー変更の有無にかかわらず）とも下記の時間内に庶務係へ提出すること。[予選・決勝オーダー用紙は、庶務係（第2ゲート学校受付）へ取りに行くこと]

低学年	男子・女子リレー	予選	7時30分～8時30分
共通	混合・男子・女子リレー	予選	各1組招集完了時刻2時間前から1時間前
低学年	男子・女子リレー	決勝	各種目招集完了時刻1時間前から40分前
共通	混合・男子・女子リレー	決勝	各種目招集完了時刻1時間前から40分前

オーダー用紙配布について	
予選	学校受付時に配布
決勝	庶務係にて配布

- (10) トラック競技における決勝への進出については、その最下位で同タイム(1/100秒単位)が出た場合、写真を拡大して1/1000秒単位で優劣の判定をする。それでも同タイムの場合は本人または代理人により抽選する。
- (11) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを超え、マットへの着地は足裏からとする。背や腰などからの着地は無効試技とする。判定は競技役員に従う。
- (12) 走高跳のバーの上げ方は、次の通りとする。なお、1位を決定するためのバーの上げ下げは2cmとする。なお、当日の状況を見て計測ラインを下げる場合がある。

5 年 男 子	1.00(練) 1.05－1.10－1.15－1.20－1.25……以降3cmきざみ
6 年 男 子	1.05(練) 1.10－1.15－1.20－1.25－1.30……以降3cmきざみ
5 年 女 子	1.00(練) 1.00－1.05－1.10－1.15－1.20……以降3cmきざみ
6 年 女 子	1.00(練) 1.05－1.10－1.15－1.20－1.25……以降3cmきざみ

- (13) 走幅跳・ジャベリックボール投の計測ラインは次の通りとする。なお、当日の状況を見て計測ラインを下げる場合がある。

	5 年 女 子	6 年 女 子	5 年 男 子	6 年 男 子
走 幅 跳	2 m 8 0	3 m 0 0	3 m 0 0	3 m 2 0
ジャベリックボール投	2 0 m	2 5 m	2 5 m	3 0 m

- (14) ジャベリックボール投はジャベボールを使用し、やり投げのピットで実施する。
 なお、助走距離は15m以内とする。(投てき角度もやり投と同様とする)
 ジャベリックボール投の試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。羽だけを持って投げることは禁止する。

5 競技用具について

- 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- リレーのマーカー（養生テープ：大きさ最大50mm×400mmで1カ所使用）は各チームで用意する。
- 走高跳のマーカー（養生テープ）は、各自で用意する。

6 抗議について

- 競技中に起きた競技者の行為、順位に関する抗議は、結果の発表後30分以内に、次のラウンドが行われる場合は15分以内に、本人または監督から審判長に対して口頭で申し出る。受付は庶務係（第2ゲート・学校受付の場所）で行う。

7 表彰について

- 1～8位の入賞者(チーム)を表彰する。各競技終了後ただちに正面玄関ロビーに集合する。
- キッズチャレンジには受付時に記録証をわたす。(表彰はありません)

8 選手の動線について

- 競技前 競技者係で招集(第2ゲート)を済ませたら、全て第2ゲートから競技場内に入る。
 入場後は、スタンドの壁に沿って移動する。本部前やスタンド下通路の通行を禁止する。
- 競技後 スタート地点へ戻る際は、スタンドに沿って順走(一方通行)で移動すること。本部前やスタンド下通路の通行を禁止する。その後荷物を持って付近の階段からスタンドへ上がる。

8 その他

- 競技開始後は、競技役員・選手以外は許可なく競技場内に入ることを禁止する。
- 競技中に発生した傷害・疾病について、主催者は傷害保険に加入の範囲内および現場での応急処置以外の責任を一切負わない。
- 競技結果は場内アナウンスによって発表する。また、兵庫陸協HPにて後日結果を掲載する。
- 貴重品・荷物等は、各自で管理し盗難にあわぬよう十分に注意すること。万一盗難にあった場合、主催者はその責任を負わない。なお、拾得物については庶務係(第2ゲート・学校受付)で保管する。
- ゴミは、各自で自宅へ持ち帰る。**